



クローバー

山形市立第十小学校 学校だより 令和8年3月10日

感謝と思いをつなぐ ～6年生を送る会～

3月4日、5年生が中心となり「6年生を送る会」を実施しました。5年生は全校児童が心から楽しめるよう準備を重ね、その姿からは次のリーダーとしての自覚が感じられました。当日は、「シルエットクイズ」や「6年生クイズ」などの活動で会場は笑顔に包まれました。さらに、6年生からのサプライズクイズでは、さすがと思わせる少し難しい問題も出され、下級生が真剣に挑戦する姿と、それを見守る6年生の頼もしいまなざしが印象的でした。終盤には、在校生からのメッセージカードとエールが贈られ、6年生からも一人一人にメッセージ付きのしおりが手渡されました。互いを思いやる気持ちが体育館いっぱいになり、胸が熱くなるひとときとなりました。今年度は、毎週水曜日に異学年での活動を重ねてまいりました。その積み重ねで生まれた、学年を越えた深いつながりを、この会を通して改めて実感いたしました。コロナ禍以前のあたたかな関わりが、確実に子どもたちの中に戻りつつあることを大変うれしく思います。6年生の卒業が近づき、寂しさは尽きません。しかし、5年生をはじめとする在校生が、その思いをしっかりと受け止め、未来へとつないでいこうとする姿が見られました。子どもたちの優しさと成長に胸を打たれた、心に深く残る素晴らしい会となりました。

1年生がエスコート



シルエットクイズ



人間知恵の輪ゲーム



6年生からもクイズ



今までありがとう



エールで激励



伝統と思いを受け継ぐ ～児童会引継ぎ式～



先日、児童会引継ぎ式を行いました。今年度の児童会目標は「みんなで笑顔の花をさかせよう～思いやり・挑戦～」。6年生の委員長たちは、この目標のもとで学校をリードし、仲間への思いやりを大切にしながらさまざまな活動に挑戦してきました。式では、これまでの取り組みや仲間への思いを丁寧に語る姿がとても立派で、全校児童も真剣なまなざしで耳を傾けていました。

「今までやったことのなかったことを企画し、挑戦したので、委員長としての児童会目標にある『挑戦』は達成できたように思います」

「僕は委員長をして、最初はとても不安でしたが、一人で考え込まず、何事も副委員長や先生に相談し、乗り越えてきました。周りの人がいたからできた委員長でした」

「今年の活動を通してよかったことは、ハッピータイムや運動会などで、他学年やこれまであまり話したことの無い人とも協力し、一緒に考えることができたことです。他学年と協力でき、何事も笑顔で挑戦できる人たちが今の十小にはたくさんいると思います。来年も委員長たちを中心に、笑顔の花がたくさん咲く十小にしていきましょう。中学校から応援しています」

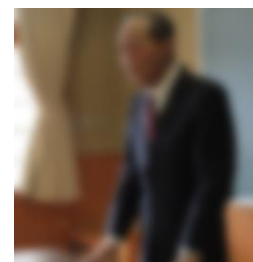
児童会活動は、子どもたちの自主性や思いやりの心を育む大切な営みです。6年生から5年生へと受け継がれるバトンには、本校の伝統とともに、笑顔と思いやり、挑戦する心が確かに込められています。その思いを受け継いだ新しいリーダーたちが、これからの十小をどのようにしていくのか、その活躍を楽しみに見守っていきたいと思います。



十小の同窓生としての第一歩 同窓会入会式

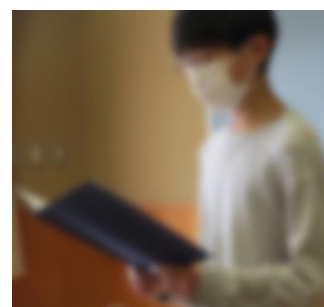


3月5日、同窓会長様をお招きし、同窓会入会式が行われました。第十小学校の同窓生は、新たに入会した73名を加え、8,311名となりました。会長さんからは、「一日も早く中学校生活に慣れ、元気に学校生活を送ってほしい」との温かいメッセージをいただきました。卒業生代表のHHさんは、「これ



クラスの幹事です

からは十小の先輩方に続き、後輩や地域のために、さまざまな活動を積極的に行っていきたい」と力強くあいさつしました。その後、各クラスの幹事が紹介されました。卒業生のみなさんには、これからは十小の同窓生として、後輩たちを温かく見守りながら、地域の中でそれぞれの力を発揮し、



活躍してくれることを願っています。

73名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。